

神戸大学ダイバーシティフォーラム  
女性上位職登用と働き方改革

外部評価と第5次男女共同  
参画基本計画から見た  
神戸大学の課題

2021年3月5日 神戸大学

三成 美保（奈良女子大学教授・副学長）

The background features a dark blue gradient with a subtle pattern of white dots. Overlaid on this are several circular and semi-circular elements. A prominent feature is a large circular scale on the left side, with numerical markings from 140 to 260 in increments of 10. Other elements include various concentric circles, dashed lines, and arrows, some of which are partially visible or cut off by the frame. The overall aesthetic is technical and futuristic.

# Ⅰ 第5次男女共同参画 基本計画

# 1-1. 第5次男女共同参画基本計画～すべての女性が輝く令和の社会へ～（令和2年12月25日閣議決定）

## 第5次男女共同参画基本計画（説明資料） ～すべての女性が輝く令和の社会へ～

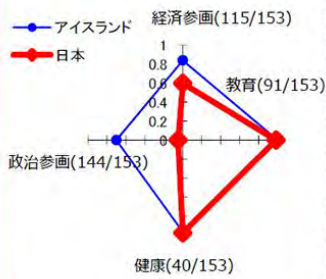
〔令和2年12月25日  
閣議決定〕

### 社会情勢の現状、予想される環境変化及び課題

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大による女性への影響
- (2) 人口減少社会の本格化と未婚・単独世帯の増加
- (3) 人生100年時代の到来（女性の51.1%が90歳まで生存）
- (4) 法律・制度の整備（働き方改革等）
- (5) デジタル化社会への対応（Society 5.0）
- (6) 国内外で高まる女性に対する暴力根絶の社会運動
- (7) 頻発する大規模災害（女性の視点からの防災）
- (8) ジェンダー平等に向けた世界的な潮流

### 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

「世界経済フォーラム」（ダボス会議）  
ジェンダー・ギャップ指数 2020 153か国中 121位

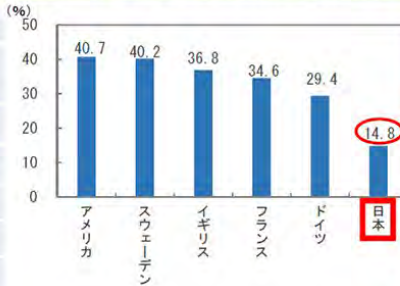


順位	国名	値
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
10	ドイツ	0.787
15	フランス	0.781
21	イギリス	0.767
53	アメリカ	0.724
106	中国	0.676
108	韓国	0.672
120	アラブ首長国連邦	0.655
121	日本	0.652
122	クウェート	0.650

### 衆議院の女性議員比率

国名	割合(%)	クォータ制の状況
フランス	39.5	・法的候補者クォータ制 ・政党による自発的なクォータ制
イギリス	33.9	・政党による自発的なクォータ制
ドイツ	31.2	・政党による自発的なクォータ制
アメリカ	23.4	-
韓国	19.0	・法的候補者クォータ制
日本	9.9	-

### 管理的職業従事者に占める女性の割合



〔出典〕列国議会同盟（2020年10月時点）  
下院又は一院制議会における女性議員割合。

〔出典〕日本の値は、総務省「労働力調査」。その他の国は、ILO「ILOSTAT」（2020年11月時点）。いずれの国も2019年の値。

・「202030目標」：社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう期待する（2003年に目標設定）

・この目標に向けて、女性就業者数や上場企業女性役員数の増加等、道筋をつけてきたが、全体として「30%」の水準に到達しそうとは言えない状況。  
・国際社会に目を向けると諸外国の推進スピードは速く、日本は遅れている。

### <新しい目標>

- ◆ 2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会となることを目指す。
- ◆ そのための通過点として、2020年代の可能な限り早期に指導的地位に占める女性の割合が30%程度となるよう目指して取組を進める。

・進捗が遅れている要因

### 政治分野（有権者の約52%は女性）

- ・立候補や議員活動と家庭生活との両立が困難
- ・人材育成の機会の不足
- ・候補者や政治家に対するハラスメント

### 経済分野

- ・管理職・役員へのパイプラインの構築が途上

### 社会全体

- ・固定的な性別役割分担意識

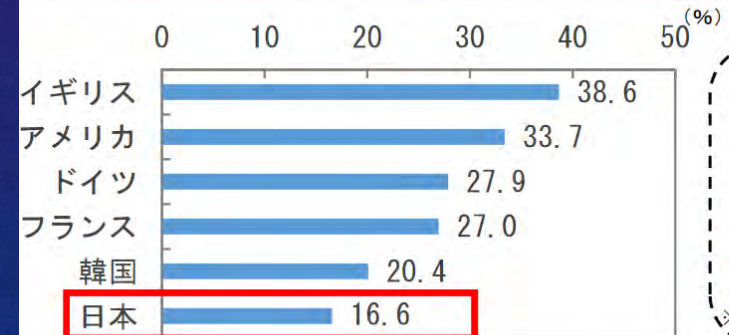
## 第4分野 科学技術・学術

### 【ポイント】

○若手研究者ポストや研究費採択で、育児等による研究中断に配慮した応募要件

○女子生徒の理工系進路選択の促進

### （参考）研究職・技術職に占める女性の割合



### 女性ノーベル賞受賞者数 （自然科学分野）

アメリカ	9名
欧州	10名
その他（※）	4名
日本	0名

※イスラエル、オーストラリア、中国、カナダ

（出典）

[https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/basic\\_plans/5th/index.html](https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/index.html)

# 施策の基本的方向と数値目標

## <施策の基本的方向と具体的な取組>

### Ⅰ 科学技術・学術分野における女性の参画拡大

#### (Ⅰ) 施策の基本的方向

- 大学や企業等において、意思決定を行う理事長・学長・研究所所長等の経営層、管理職や教授など現場のトップや、研究現場を主導する上位職に女性研究者・技術者を積極的に登用する。
- 女性研究者・技術者のキャリアパスの明確化や研修の充実等、女性リーダー育成を支援する。

項目	現状	成果目標 (期限)
第4分野 科学技術・学術における男女共同参画の推進		
大学の理工系の教員(講師以上)に占める女性の割合	理学系:8.0% 工学系:4.9% (2016年)	理学系:12.0% 工学系:9.0% (2025年)
大学の研究者の採用に占める女性の割合	理学系:17.2% 工学系:11.0% 農学系:18.9% 医歯薬学系:25.3% 人文科学系:37.7% 社会科学系:25.8% (2018年)	理学系:20% 工学系:15% 農学系:30% 医歯薬学系:30% 人文科学系:45% 社会科学系:30% (2025年)
大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合	理学部:27.9% 工学部:15.4% (2019年)	前年度以上 (毎年度)

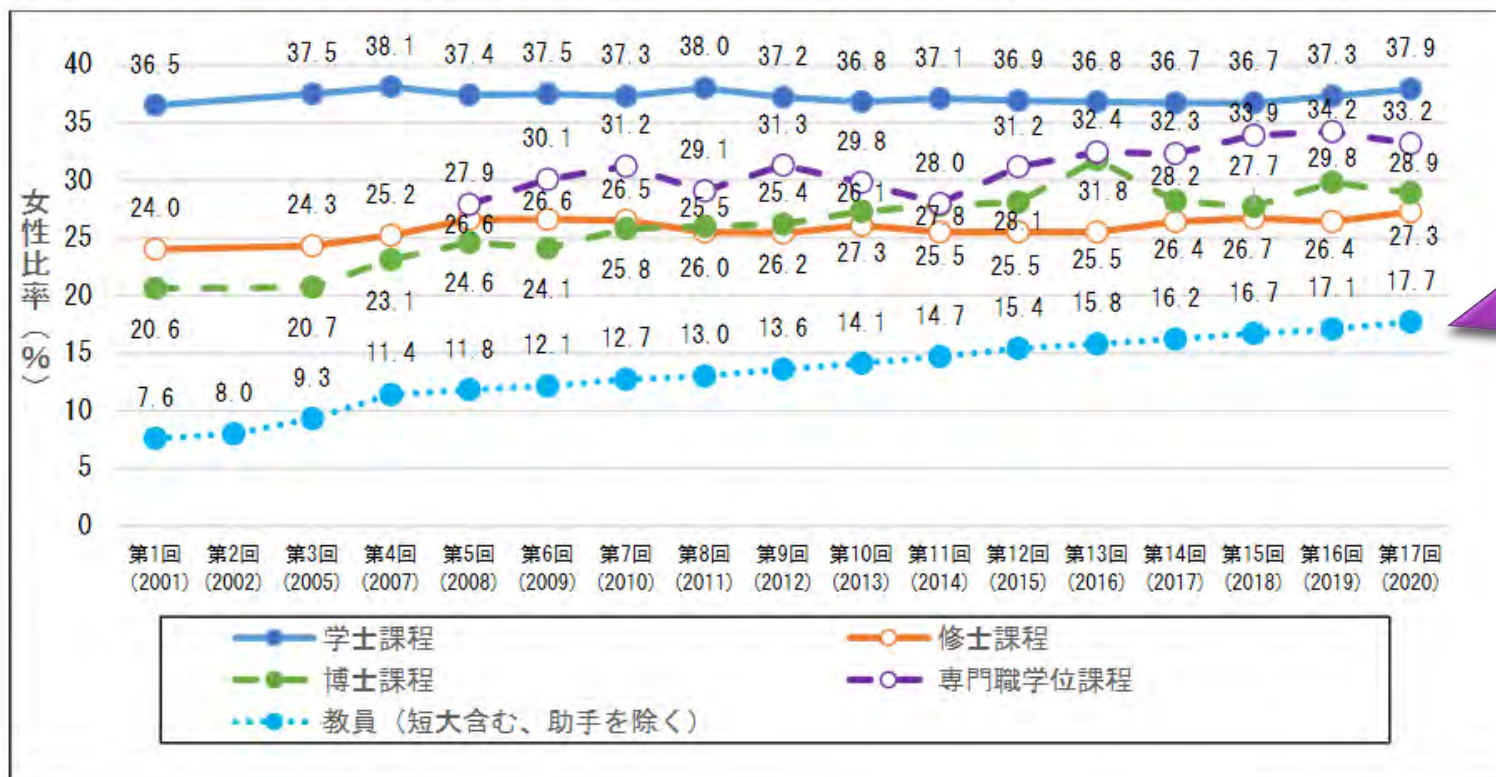
## 1-2. 数値目標の設定（ポジティブ・アクション）の推移

- 2003年4月 男女共同参画推進本部が「女性のチャレンジ支援策の推進について」を決定
  - 2020年までに指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるように期待することが盛り込まれる。
- 2011年2月「国立大学における男女共同参画の推進について－アクションプラン－」を策定
  - 国立大学の女性教員比率を20%以上に引き上げることを目指しつつ、少なくとも2015年までに17%以上（各大学において1年で1%以上）に引き上げることを新たな達成目標とした。
- 2016年1月 第5期科学技術基本計画 閣議決定（2016年度から2020年度までの計画）
  - 第4期科学技術基本計画が掲げた女性研究者の新規採用割合に関する目標値（自然科学系全体で30%、理学系20%、工学系15%、農学系30%、医学・歯学・薬学系合わせて30%）について、第5期基本計画中に速やかに達成することとされた。また、大学等において、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」を活用し、各事業主が採用割合や指導的立場への登用割合などの目標設定と公表等を行う取組を加速することとされた。
- 2016年1月「国立大学における男女共同参画の推進について－アクションプラン（2016年度～2020年度）－」を策定
  - 国立大学の2020年までの女性教員比率の達成目標については、各大学がそれぞれ状況に応じて設定し、現在の比率が30%以上の大学は40%以上、20%以上の大学は30%以上、10%以上の大学は20%以上、10%未満の大学は10%以上というように、より高い比率の達成を目指すこととした。また、2020年までに国立大学全体の学長、理事、副学長は12%以上、大学の意思決定機関等（学長補佐、部局長、監事、経営協議会委員、教育研究評議会評議員等）は10%以上、教授は15%以上、准教授は23%以上、課長相当職以上は17%以上の女性比率の達成を目指すことを新たに設定した。

# 1-3. 国立大学の現状（国大協）

## 【参考資料】

### 1. 追跡調査年度の学部学生、修士学生、博士学生及び教員（助手除く）の女性比率



女性教員比率は、学生・修士・博士院生の女性比率に遠く及ばない。

※第2回調査では学生について調査を行っていない。

なお、第4回調査からは学校教育法の改正により従来の助手が「助手」及び「助教」に分けられ、助教がデータに含まれるようになった。

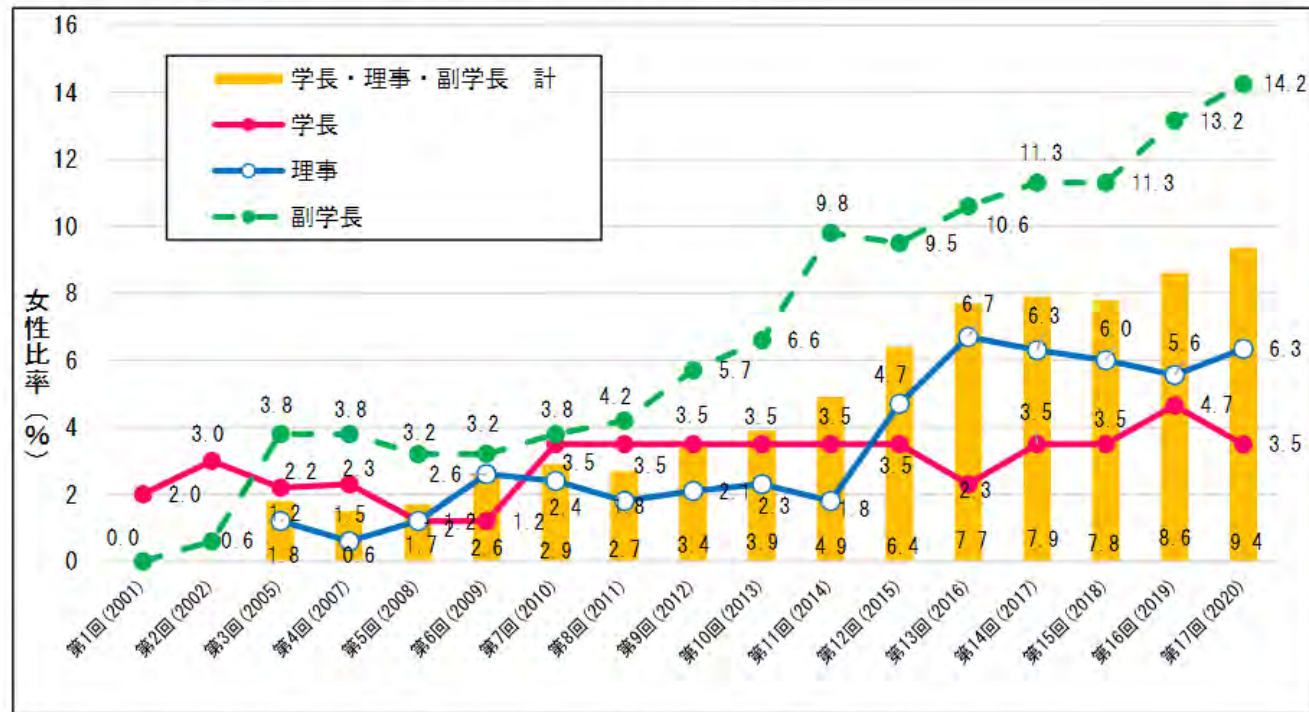
(出典) 国立大学における男女共同参画推進について—アクションプラン(2021年度~2025年度)—  
 令和3年1月14日 一般社団法人国立大学協会教育・研究委員会  
[https://www.janu.jp/gender/files/danjyo\\_actionplan2021-2025.pdf](https://www.janu.jp/gender/files/danjyo_actionplan2021-2025.pdf)

# 国立大学における男女共同参画推進について —アクションプラン（2021年度～2025年度）—

令和3年1月14日

一般社団法人国立大学協会教育・研究委員会

## 2. 追跡調査年度の学長、理事、副学長における女性比率

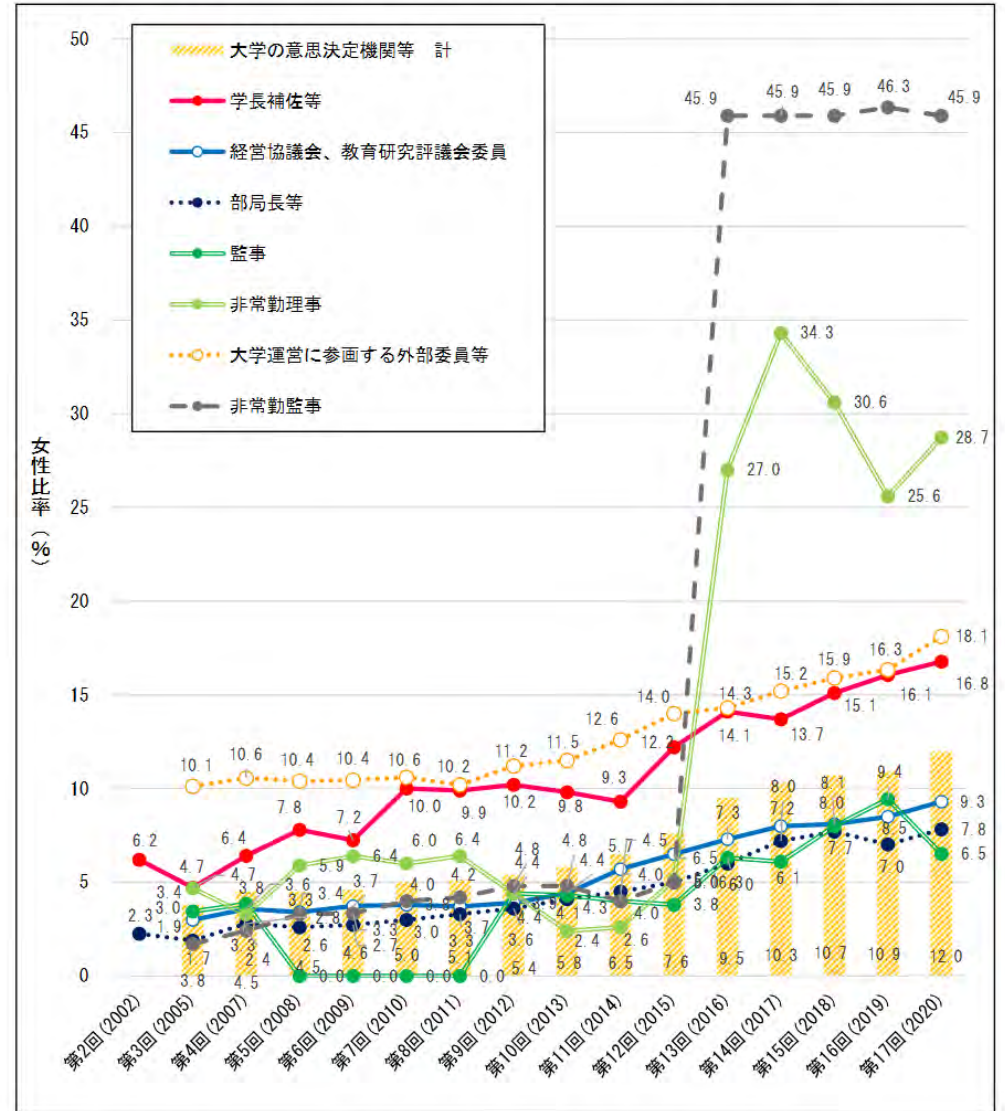


※理事については、第3回調査以降（法人化後）の数値を掲載している。

※第17回調査までは非常勤理事を「大学の意思決定機関等」に含めていたが、第18回調査からは「学長、理事、副学長」に区分を変更する。

- (出典) [https://www.janu.jp/gender/files/danjyo\\_actionplan2021-2025.pdf](https://www.janu.jp/gender/files/danjyo_actionplan2021-2025.pdf)

## 3. 追跡調査年度の大学の意思決定機関等（学長、理事、副学長を除く）における女性比率



※理事、外部委員等については、第3回調査以降（法人化後）の数値を掲載している。

※大学の意思決定機関等の計は、学長補佐、経営協議会等（学外委員）、経営協議会（学内委員）、教育研究評議会委員、部局長等、監事、非常勤理事、非常勤監事の計とし、これらの役職等を全て調査するようになった第3回調査以降の集計としている。なお、第17回調査までは非常勤理事を「大学の意思決定機関等」に含めていたが、第18回調査からは「学長、理事、副学長」に区分を変更する。

# 1-4. 国立大学における男女共同参画推進について —アクションプラン（2021年度～2025年度）—令和3年1月14日

第5次男女共同  
参画基本計画

- (1)女性教員比率
- 国立大学の女性教員比率については、政府による「**指導的地位に占める女性の割合が2020年代の可能な限り早期に30%程度となるよう目指して取組を進める**」という目標を踏まえ、その候補者となる女性教員の母数を増やす必要があり、国立大学全体の女性教員比率の更なる向上に向けた取組が求められる。
- このため、国立大学の女性教員比率は**2020年5月1日現在17.7%**となっているところ、この比率を**30%に引き上げる**ことを目指す。2030年までに女性教員比率30%を達成するためには、2020年5月1日現在の17.7%から、10年間で**12.3<sup>ポイント</sup>**の増加が必要となる。したがって、**2025年までの5年間で女性教員比率をおよそ6<sup>ポイント</sup>増加させ、24%以上に引き上げる**ことを目指す。

▶ (出典) [https://www.janu.jp/gender/files/danjyo\\_actionplan2021-2025.pdf](https://www.janu.jp/gender/files/danjyo_actionplan2021-2025.pdf)



# 国大協 男女共同参画調 査報告書 (2021年1月)

近畿圏国立総合大学

## ▷ 女性教員比率区分別大学数

女性教員比率	第13回調査 (2016)	第14回調査 (2017)	第15回調査 (2018)	第16回調査 (2019)	第17回調査 (2020)
40%以上	1大学	1大学	1大学	3大学	4大学
30%以上～40%未満	3大学	3大学	3大学	1大学	0大学
20%以上～30%未満	17大学	20大学	25大学	27大学	29大学
15%以上～20%未満	37大学	36大学	34大学	32大学	34大学
10%以上～15%未満	20大学	18大学	15大学	16大学	11大学
1%～10%未満	8大学	8大学	8大学	7大学	8大学

神戸  
大学

## ▷ 女性教員比率が20%以上の大学 33大学 (前回調査比2大学増)

お茶の水女子大学 (44.9%)、総合研究大学院大学 (42.3%)、東京外国語大学 (41.4%)、**奈良女子大学 (40.3%)**、大阪教育大学 (27.8%)、筑波技術大学 (27.6%)、東京芸術大学 (27.4%)、東京学芸大学 (27.1%)、兵庫教育大学 (26.5%)、京都教育大学 (26.4%)、滋賀医科大学 (24.9%)、東京医科歯科大学 (24.7%)、政策研究大学院大学・福岡教育大学 (24.6%)、奈良教育大学 (24.2%)、上越教育大学 (24.1%)、鳴門教育大学 (24.0%)、浜松医科大学 (23.9%)、**滋賀大学 (23.5%)**、**和歌山大学 (23.0%)**、長崎大学 (22.3%)、愛知教育大学・千葉大学 (21.8%)、旭川医科大学・大分大学 (21.6%)、福井大学 (21.5%)、島根大学・一橋大学 (21.4%)、群馬大学 (21.3%)、宇都宮大学 (20.4%)、香川大学 (20.3%)、高知大学 (20.2%)、鹿児島大学 (20.1%)

## ▷ 前回調査より女性教員比率が1ポイント以上増加した大学 20大学 (前回調査比4大学増)

政策研究大学院大学 (3.5 増)、浜松医科大学 (3.1 増)、福岡教育大学 (2.7 増)、東北大学 (2.6 増)、奈良教育大学 (2.1 増)、東京学芸大学 (1.5 増)、東京外国語大学 (1.4 増)、山形大学・富山大学・**奈良女子大学 (1.3 増)**、東京農工大学・新潟大学・静岡大学・兵庫教育大学 (1.2 増)、**大阪大学 (1.1 増)**、滋賀医科大学・徳島大学・愛媛大学・大分大学・鹿児島大学 (1.0 増)

## ▷ 前回調査より女性教員数が10人以上増加した大学 10大学 (前回調査比増減なし)

東北大学 (90人増)、**大阪大学 (42人増)**、新潟大学 (26人増)、東京大学・浜松医科大学 (24人増)、広島大学 (21人増)、名古屋大学 (17人増)、筑波大学 (15人増)、**京都大学 (14人増)**、鹿児島大学 (12人増)

- (出典)  
[https://www.janu.jp/gender/202101houkoku\\_gaiyou.pdf](https://www.janu.jp/gender/202101houkoku_gaiyou.pdf)

The background features a dark blue gradient with a large, faint circular scale on the left side, ranging from 140 to 260. Several smaller circular patterns, some solid and some dashed, are scattered across the background, creating a technical or scientific aesthetic.

## 2 神戸大学の取り組み 国際外部評価の結果から

# 2-1. 現状と成果の「見える化」



神戸大学男女共同参画推進室  
— Kobe University Gender Equality Office —

[お問い合わせ](#)
[ENGLISH](#)

推進室について
育児・介護支援
研究支援
イベント
情報・データ

**神戸大学が目指す  
男女共同参画推進**



男女の個性と能力が  
発揮できる社会へ

**ダイバーシティ  
研究環境実現  
イニシアティブ(先端型)**

平成30年度  
文部科学省科学技術人材育成  
費補助事業

**神戸大学  
ユネスコチェア**



ジェンダーや脆弱性に  
配慮した減災対策

**理系女子の  
ススメ!**



女子中高生の  
理系の進路選択を支援

### お知らせ (学内)

イベント **2020.02.12**  
 神戸大学ダイバーシティフォーラム「女性上位職登用と働き方改革 - 誰もがいきいきと働くことのできる職場を目指して-」のご案内【PDF】

報告 **2020.02.12**  
 オンライン介護個別相談を実施しました

イベント **2020.01.04**  
 オンライン介護個別相談の実施について (KUIC掲示板に掲載しています)

募集 **2020.11.12**  
 神戸大学ユネスコチェア「災害におけるジェンダーと脆弱性」COVID-19 オンライン国際会議の参加学生募集【PDF】※応募は各学部/研究科へお願いします。

ニュース **2020.10.26**  
 女子中高生のための関西科学塾A日程(神戸大学主催)のニュースレターを発行しました【PDF】

[一覧はこちら →](#)

[ENGLISH](#)  
[CONTACT](#)

平成30年度科学技術人材育成費補助事業  
**ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)事業**



女性研究者の  
国際的な活躍を支援します。  
仕事と生活を両立し  
より豊かな  
ワーク&ライフ  
の実現をめざして。



Home
事業について
活動報告
統計データ
外部評価
学外連携
海外生活支援

### お知らせ

2020/04/24 お知らせ ダイバーシティ教育プログラムロ版(オンライン版)を利用したい方は、当室までご連絡ください(学内者限定)

2020/02/05 イベント 2018年度女性研究者 海外派遣制度・共同研究支援 成果報告会を開催しました

2019/04/08 イベント ダイバーシティフォーラム キックオフシンポジウムを開催しました

お知らせ ユネスコのホームページに神戸大学ダイバーシティフォーラムの記事が掲載されました(外部サイト)

外部評価 神戸大学ダイバーシティ推進宣言

2019/03/22 お知らせ ホームページを公開しました

### 達成目標

22%

女性研究者  
在籍比率

20%

女性研究者の  
昇任比率

33%

女性研究者  
採用比率



事業について



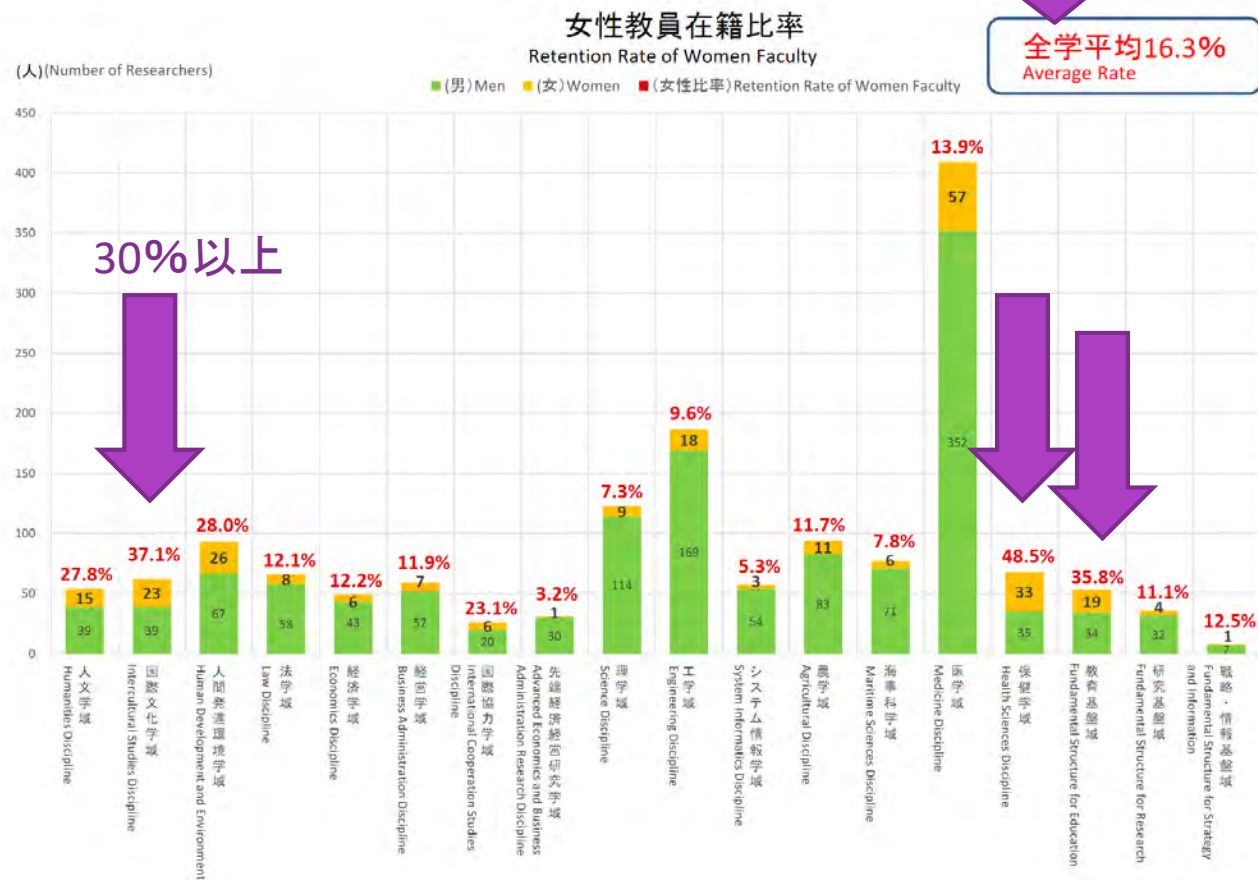
活動報告

# 2-2. 女性教員比率の現状－女性学生比率との比較

国大協平均17.7%  
神戸大学目標22%

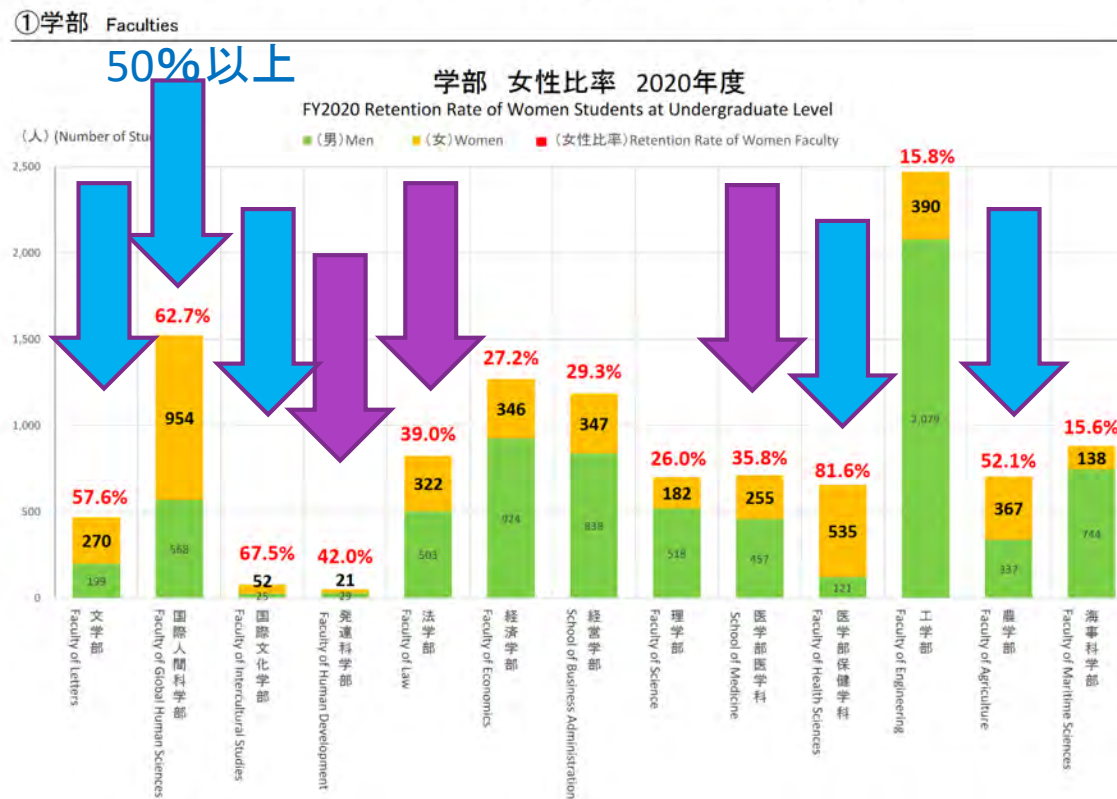
①在籍 Retention Rate

2020年5月1日現在 (as of May 1, 2020)



### 神戸大学における女性学生の比率 Retention Rate of Women Students at Kobe University

神戸大学における学生全体の女性比率(年度別、研究科別)グラフと表  
Retention Rate of Women Students at undergraduate and graduate levels by faculties

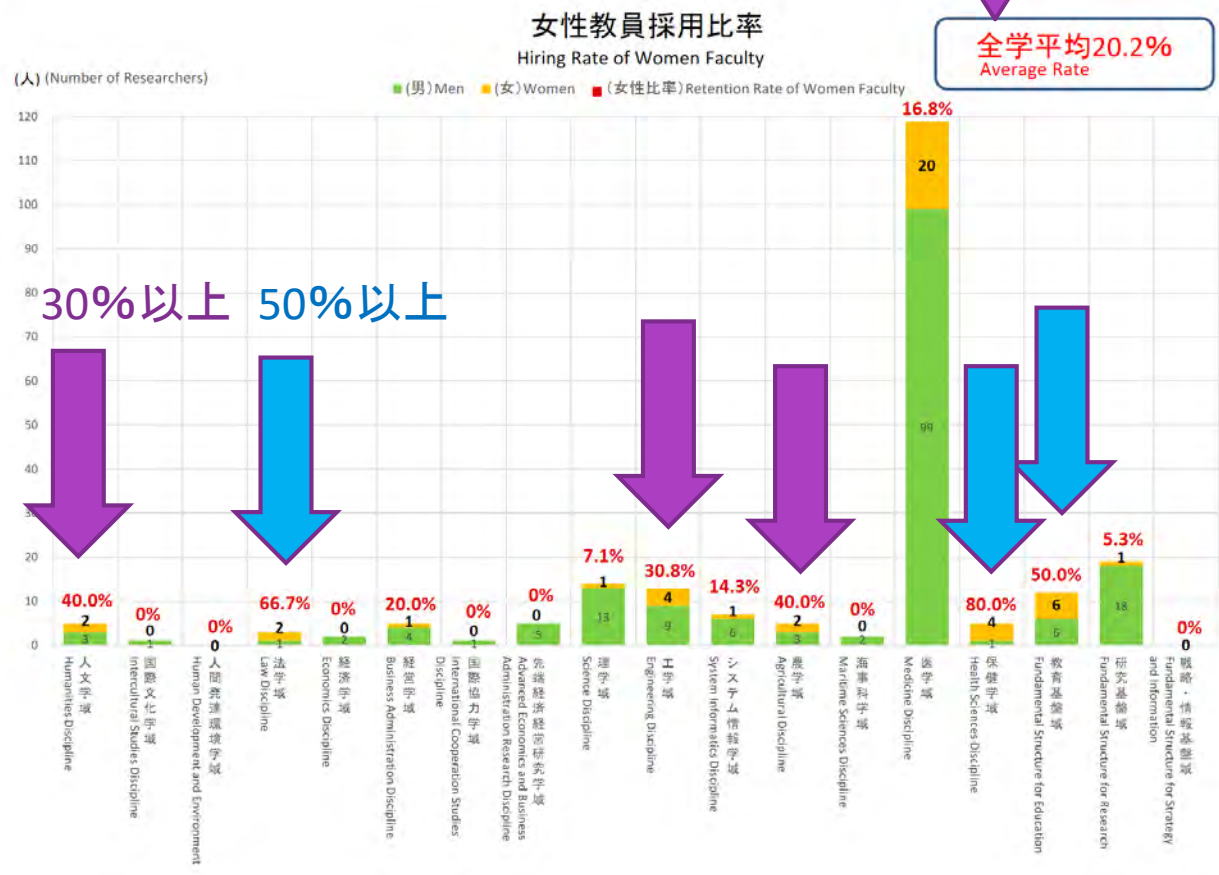


# 2-3. 採用と昇任の女性比率

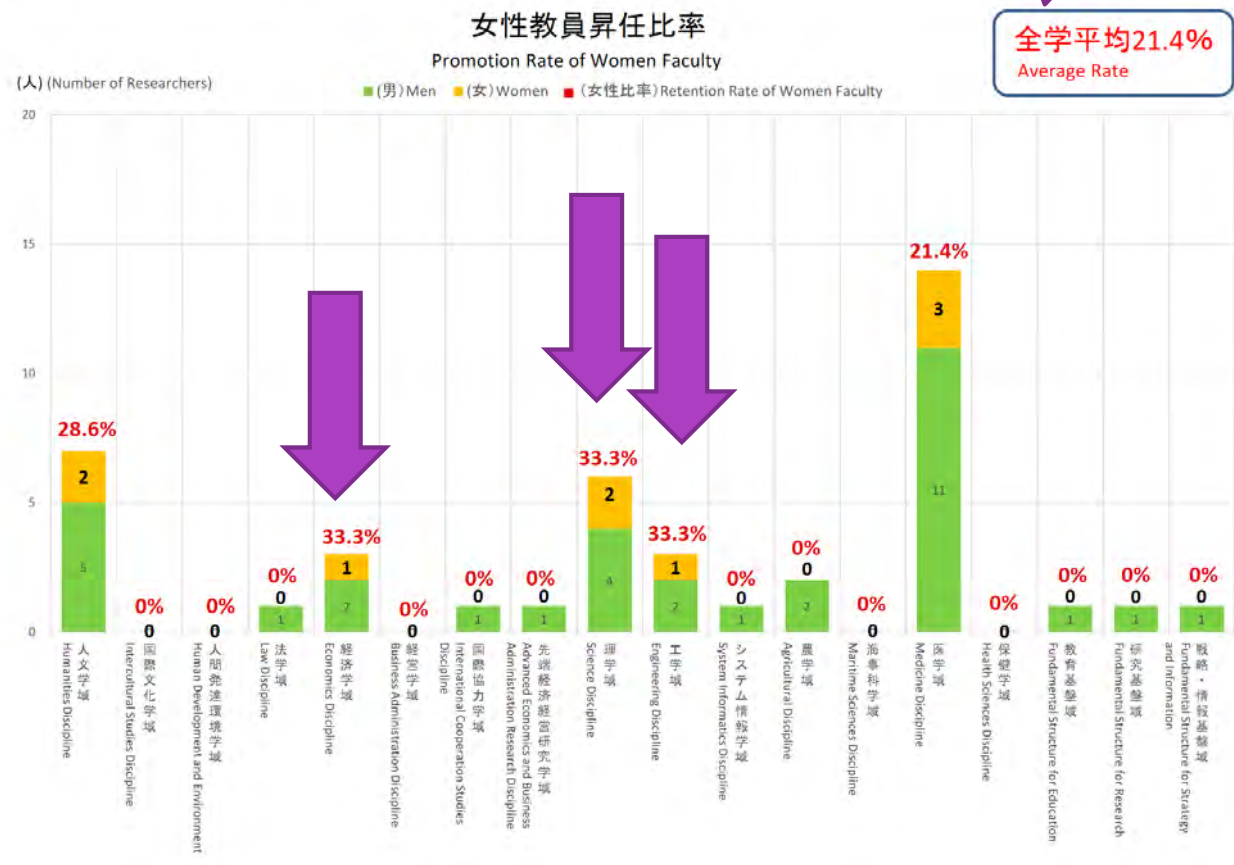
神戸大学目標33%

神戸大学目標20%

③採用 Hiring Rate of Women Faculty



⑤昇任 Promotion Rate of Women Faculty



## 2-4. 2018~2019年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）事業結果報告書

採用比率30%

- ・ 2018年度達成・2019年度未達成
- ・ 執行部との協議・関係部局とのヒアリング

昇任比率20%

- ・ 国際共同研究PI養成プログラム（達成・順調）
- ・ 女性役員（増加）

次世代研究者

- ・ 国際人事交流プログラム（達成）→研究業績アップ
- ・ 中高生向けの取り組み（成果あり）

The background features a dark blue gradient with a subtle pattern of white dots. Overlaid on this are several white circular elements: a large scale on the left with markings from 140 to 260, and several smaller circles with dashed lines and arrows, suggesting a technical or scientific theme.

# 3 神戸大学への期待

# 3-1. 外部評価委員からの提案

候補者がいない

- ・ 院生比率とのバランスをとるべき
- ・ 女性応募者がいない場合には人事凍結

ポスト争奪戦

- ・ ジェンダー平等の効用の「実感」
- ・ クロスアポイントメントの活用

インセンティブ

- ・ 「ジェンダー平等チャンピオン」
- ・ 取り組みの継続と成果の見える化



# 3-2. さらなる取り組みの進展を！

